

市町村名	八重瀬町							
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1-①	八重瀬町外国語指導強化事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-5-(3)-ア		
担当部課名	教育委員会 学校教育課	事業実施 (予定)年度	平成24年度 ～ 令和13年度			国際感覚を身に付ける教育の 推進		
					沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-3-(1)		
事業内容	児童生徒の英語学習意欲や英語学力の向上を図り、国際社会に柔軟に対応できる人材を育成するため、町内小中学校に英語指導助手を配置する。							
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)							
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	予算 の 状 況	(a)当初予算額	20,582	21,963	21,963	21,777	24,956	
		(b)予算現額	21,060	21,963	21,687	22,110	24,479	
		(c)増減額(b-a)	478	0	▲276	333	▲477	
		(d)繰越額						
		A. 計(b+d)	21,060	21,963	21,687	22,110	24,479	
	B. 執行済額		20,853	21,963	21,600	22,001	24,158	
	うち交付金充当額		16,682	27,570	17,280	17,600	19,326	
	次年度繰越額							
	執行率(%) (B/A)		99.0%	100.0%	99.6%	99.5%	98.7%	
予算の状況の説明		当初の計画通りの人員を配置することができたが、無給による休暇の取得等により報酬の減額が生じた。						
活動目標 (指標) 及び達成状況	R6活動目標(指標)		達成状況					
				R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	≪英語指導助手:5人配置≫ 小学校4校:3人配置し分担		目 標	(3人)	(3人)	(3人)	(3人)	
			実 績	3人	3人	3人	3人	
	中学校2校:2人配置		目 標	(2人)	(2人)	(2人)	(2人)	
			実 績	2人	2人	2人	2人	
達成 状 況 説 明	・英語指導助手を5人(小学校3人配置し分担・中学校2人配置)配置した。 ・小学校では英語への興味・関心を高めるため「楽しい英語」を意識した授業に取り組んだ。 ・中学校では英語指導助手のネイティブな英語に触れ、英語力向上に繋がる授業に取り組んだ。							
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R6成果目標(指標)			基準値 (年度)	R4年度	R5年度	R5年度	目標値 (年度)
	①小学校 英語に対する興味・関心が高まった(80%以上)を含め、対象児童へのアンケート調査により当該事業のあり方を検証する。		目 標	()	(80%以上)	(80%以上)	(80%以上)	()
			実 績		79.3%	76%	82%	
	②中学校 沖縄県学力到達度調査(英語)における、県と本町との平均正答率の差 平均以上		目 標	()	(平均以上)	(平均以上)	(平均以上)	()
			実 績		+0.2	+2.7	-2.3	
	進 捗 状 況 説 明	・小学校の英語に対する興味・関心度については、82%と目標を達成することが出来た。今後も英語指導助手を配置したことにより「楽しい英語」の取り組みが学習意欲の向上に繋がるよう更なる工夫をしていく。 ・中学校の沖縄県学力到達度調査(英語)における県と本町の平均正答率の差は、-2.3ポイントとなり、成果目標である平均以上を下回る結果となった。						

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	・小学校における英語に対する興味・関心度に関するアンケートによる検証結果は、82%となり、目標達成となった。 ・「英語指導助手の先生の授業は楽しいですか」のアンケート項目では「楽しい」と答えている生徒が約87%いる一方、「外国の人とお話してみたいですか」の問いでは「あまり話したくない」「話したくない」と回答した児童が約35%と、英語でのコミュニケーションに苦手意識を持った児童が多いことがわかった。 ・中学校における目標値である沖縄県達成度調査による平均正答率との差が-2.3ポイントとなり、目標未達成となった。授業への興味・関心を高めるような教材作成や補習・英検対策等、通常の授業にプラスした取り組みをさらに取り入れる必要がある。	・小学校では、担当教職員と英語指導助手が連携を強化し、英語に対する興味・関心を高め、英語でのコミュニケーションを苦手と感じないよう工夫した教材の研究や作成等を行い、英語に対する児童の積極性を高めるような授業を実施することが必要である。 ・中学校では、目標を達成することができず、更に前年度の結果を下回っており、今後も英語力向上へ繋がるよう、英語指導助手のスキルアップが必要である。
今後の取り組み方針		
英語に初めて接する小学生の苦手意識を減らし、英語に対して興味・関心を高めるような授業を実施することで、中学進学後の更なる英語力向上に繋がるよう、日々の教材研究や教材作成、定期的な研修会の開催等、英語指導助手の継続的なスキルアップが必要である。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>24,638</td><td>24,158</td><td>19,326</td><td>4,832</td><td>480</td></tr> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	24,638	24,158	19,326	4,832	480
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
24,638	24,158	19,326	4,832	480										
八重瀬町 24,158千円 報酬 15,267千円 期末手当 5,509千円 共済費 3,075千円 通勤手当 307千円 交付対象外経費 480千円 英語指導助手 小学校4校 3名 中学校2校 2名 英語指導助手 小学校4校 3名 中学校2校 2名 英語指導助手 小学校4校 3名 中学校2校 2名 英語指導助手 小学校4校 3名 中学校2校 2名														
資金使途の流れ、費目・評価	評価	点検項目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・支出先は町規定に基づき雇用契約を結んでおり妥当である。 ・配置予定人数分を町規模等に基づき計上した。不用額も発生しておらず、予算規模は概ね適正であった。 ・費用・使途については、外国語指導助手に対する報酬・期末手当・共済費・通勤手当であり、必要なものに限定されていた。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	八重瀬町						
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-②	八重瀬町ICT支援員配置事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-5-(3)-イ	
担当部課名	教育委員会 学校教育課	事業実施 (予定)年度	平成24年度 ～ 令和13年度			Society5.0に対応する教育の推進	
					沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-3-(1)	
事業内容	ICT環境を効果的に活用した分かりやすい授業を展開するため、小中学校にICT支援員を配置し、児童生徒の情報機器操作能力や情報活用能力の向上を図る。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	□直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	予算の 状況	(a)当初予算額	11,368	11,368	12,505	23,562	23,995
		(b)予算現額	9,020	11,110	12,375	23,265	23,628
		(c)増減額(b-a)	▲2,348	▲258	▲130	▲297	▲367
		(d)繰越額	—	—	—	—	—
		A.計(b+d)	9,020	11,110	12,375	23,265	23,628
	B.執行済額		9,020	11,110	12,375	23,265	23,628
	うち交付金充当額		7,216	8,888	9,900	18,612	18,902
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
予算の状況の説明		予算減額については、委託業務契約実績に伴う減額である。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	R6活動目標(指標)		達成状況				
				R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	≪ICT支援員:3人配置≫		目 標	(ICT支援員 配置 2人)	(ICT支援員 配置 2人)	(ICT支援員 配置 3人)	(ICT支援員 配置 3人)
	小学校4校・中学校2校:3人配置(分担)		実 績	2人	2人	3人	3人
			目 標				
			実 績				
達成 状況 説明	当初の計画通りICT支援員を3人確保し、小学校4校・中学校2校を巡回で配置した。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R6成果目標(指標)		基準値 (年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値 (年度)
	ICT機器を活用した分かりやすい授業が実施されたか(80%以上)を含め、児童生徒に対するアンケートにより本事業のあり方を検証する。		目 標	() (80%以上)	(80%以上)	(80%以上)	()
			実 績	95.0%	95.5%	90.0%	
	【参考指標】		目 標	() ()	()	()	()
			実 績				
進 捗 状 況 説 明	児童生徒に対するアンケート検証の結果「ICT支援員(パソコンの先生)がいると、授業は分かりやすいですか?」の質問に対し、「とてもわかりやすい」「わかりやすい」と回答した児童生徒の割合が90.0%で目標を上回った。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・ICT支援員を配置したことで、専門的な支援体制が図られ児童生徒や教員のICT機器の活用能力が向上したと考える。 ・児童生徒へのアンケート結果が90.0%だったことから、成果目標であるICT機器を活用した分かりやすい授業が実施されたと考える。 ・ICT支援員を配置し、教員に対してICT機器の操作方法を支援することにより、積極的にICT機器を活用することができ、研修を通して教員のスキルアップへと繋がった。また、コロナウイルスの影響により児童生徒のICT機器を活用する機会も増え、そこにスキルアップした教員及びICT支援員が児童生徒を支援することで、児童生徒の満足度に繋がったと考えられる。	・新たな機器の導入やプログラミング授業の導入など、急速に発展する情報化社会に児童生徒や教員が取り残されることがないようにサポートする必要がある。 ・アンケートによる検証を行いながら児童生徒の学習ニーズを把握していく必要がある。 ・学校によって、ICT機器の活用頻度が低い学校もあるため、授業への活用方法等、ICT支援員を通して提案・サポートが必要がある。 (夏休み期間を活用した教職員向けのICT研修会の開催等)
今後の取り組み方針		
・急速に発展する情報化社会に対応できるよう、支援の内容やサポート体制を検討する。 ・ICT支援員の配置を継続する事で、児童生徒や教職員のICTに対する理解度を高めていく。 ・児童生徒がコンピュータやインターネットの便利さに気づき、学習に活用したり、その仕組みを理解しようとする意欲が育まれるよう指導するだけでなく、情報セキュリティの知識や危険性についても指導できるよう、教職員への支援を進めていく。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>23,628</td><td>23,628</td><td>18,902</td><td>4,726</td><td>0</td></tr> </tbody> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	23,628	23,628	18,902	4,726	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
23,628	23,628	18,902	4,726	0										
八重瀬町 23,628千円 委託料 23,628千円 株式会社 オキジム 23,628千円 ICT支援員配置: 3名 ※八重瀬町ICT支援員配置事業														
資金の 使途の 流れ、 点検、 評価	評価	点検項目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・委託業者は指名競争入札の業者選定をしており、妥当であったと考える。 ・不用額を出すことなく事業執行できたため適正であったと考える ・費目、使途については毎月検査を行い、目的に即し必要なものであったと判断した。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	八重瀬町							
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1-③	八重瀬町学力向上支援事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-5-(2)-ア		
担当部課名	教育委員会 学校教育課	事業実施 (予定)年度	平成25年度 ～ 令和13年度			確かな学力を身に付ける学校 教育の充実		
					沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-3-(1)		
事業内容	町内小中学校に学習支援員を配置し、児童生徒の学力に応じた個々の学習指導で、学力の向上を図る。							
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)							
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	予算 の 状 況	(a)当初予算額	34,602	15,942	15,944	16,002	19,421	
		(b)予算現額	21,060	14,258	12,414	15,215	18,224	
		(c)増減額(b-a)	▲13,542	▲1,684	▲3,530	▲787	▲1,197	
		(d)繰越額	—	—	—			
		A. 計(b+d)	21,060	14,258	12,414	15,215	18,224	
	B. 執行済額		24,657	13,508	12,790	15,215	18,116	
	うち交付金充当額		19,726	10,806	10,232	12,172	14,493	
	次年度繰越額		0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)		117.1%	94.7%	103.0%	100.0%	99.4%	
予算の状況の説明		当初から計画通りの人員を配置することができたが、無給による休暇の取得等により報酬の減額が生じた。						
活動目標 (指標) 及び達成状況	R6活動目標(指標)		達成状況					
				R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	≪学習支援員:6人配置≫		目 標	(小学校4人 中学校2人)	(小学校4人 中学校2人)	(小学校4人 中学校2人)	(小学校4人 中学校2人)	
	小学校4校:4人配置 中学校2校:2人配置		実 績	小学校4人 中学校2人	小学校4人 中学校2人	小学校4人 中学校2人	小学校4人 中学校2人	
			目 標	()	()	()	()	
			実 績					
達成 状況 説明	小学校4人・中学校2人の計6人の配置計画に対して、年度当初から計画通りの配置ができた。							
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R6成果目標(指標)			基準値 (年度)	年度	R5年度	R6年度	目標値 (年度)
	沖縄県学力到達度調査における、県と本町との平均正答率の差 ・小学校(国語・算数) 平均以上		目 標	()	(平均以上)	(平均以上)	(平均以上)	()
			実 績		-1.7	+0.6	+3.3	
	沖縄県学力到達度調査における、県と本町との平均正答率の差 ・中学校(国語・数学) +4.0ポイント以上		目 標	()	(平均以上)	(+4.0 ポイント 以上)	(+4.0 ポイント 以上)	()
			実 績		+7.5	+10.2	+4.6	
	進 捗 状 況 説 明	・小学校における県と本町の平均正答率の差は、算数と6年生の国語は平均以上であったが、5年生の国語が県平均を下回る結果となった。トータルでは+3.3ポイントで県平均を上回っており、目標を達成することができた。 ・中学校における県と本町の平均正答率の差は、+4.6ポイントで成果目標である+4.0ポイント以上を上回っており、目標を達成することができた。						

市町村名	八重瀬町						
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-④	八重瀬町特別支援員配置事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-5-(2)-ウ	
担当部課名	教育委員会 学校教育課	事業実施 (予定)年度	平成27年度 ～ 令和13年度			個性を伸ばし、自立に向けた資質・ 能力を伸ばす教育の推進	
					沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-3-(1)	
事業内容	特別な支援を要する幼児児童生徒の学校生活や学習上の困難の改善を図るため、町内幼小中学校に特別支援員を配置する。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	予算の 状況	(a)当初予算額	60,731	34,792	43,225	38,454	53,402
		(b)予算現額	49,079	37,359	42,987	36,837	46,633
		(c)増減額(b-a)	▲11,652	2,567	▲238	▲1,617	▲6,769
		(d)繰越額	—	—	—		
		A. 計(b+d)	49,079	37,359	42,987	36,837	46,633
		B. 執行済額	47,166	36,539	38,999	36,837	46,171
		うち交付金充当額	37,733	29,231	31,199	29,469	36,937
		次年度繰越額	0	0	0	0	0
		執行率(%) (B/A)	96.1%	97.8%	90.7%	100.0%	99.0%
	予算の状況の説明	当初から計画通りの人員を配置することができず、年度途中で配置したことにより欠員期間の分を減額した。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	R6活動目標(指標)		達成状況				
			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	特別支援員:20人配置 小学校4校:17人配置 中学校2校:3人配置	目 標	幼稚園9人 小学校8人 中学校2人	幼稚園8人 小学校11人 中学校1人	小学校15人 中学校3人	小学校17人 中学校3人	
		実 績	幼稚園9人 小学校8人 中学校2人	幼稚園7人 小学校13人 中学校1人	小学校15人 中学校3人	小学校18人 中学校2人	
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
達成 状況 説明	小学校17人、中学校3人の計20人の配置計画に対して、年度途中からの雇用があったが、概ね計画通りの配置ができた。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R6成果目標(指標)		基準値 (年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値 (年度)
	対象となる幼児児童生徒の保護者へのアンケートで、「特別支援員の対応に満足したか(80%以上)」を含め、当該事業のあり方を検証する。	目 標	()	(80%以上)	(80%以上)	(80%以上)	()
		実 績		81.7%	81.1%	83.0%	
	【参考指標】	目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進 捗 状 況 説 明	保護者に対するアンケート検証において「特別支援員さんの対応に満足していますか?」の質問に対し、「とても満足している」「満足している」と回答した保護者の割合が83%で目標を上回った。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化) ・多様化する教育的支援のニーズに対して適切な支援を行えるよう、特別支援員としてのスキルがより求められるようになってきている。 ・対象となる児童が増加する中、配置計画に対し年度途中からの支援員配置により、安定的な人員確保ができず、十分に児童への対応が出来ていない学校もあり、そのことがアンケートで「満足していない」と回答した保護者の要因にも繋がっていると考えられる。	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点) ・支援の必要な児童生徒への適切な支援を行えるよう、研修会等を通して特別支援員の更なるスキルアップを図る必要がある。 ・配置計画通りの人員を確保するために、継続的に町のホームページやSNSで発信する他、学校側にも知合い等に入材がいないか声掛けを行う。 ・対象児童への支援を通して気になることがあれば、積極的に担当教職員へ報告し、必要があれば教員から保護者へ情報の連携を図ることで、より充実した児童のサポートができるよう取り組む。
	今後の取り組み方針 ・特別支援員のスキルアップに繋がる取組みについて検討を行う。 ・学校現場や特別支援の申込み状況等、関係各所より早めに情報提供を受け、必要となる人員の確保に務めるとともに、児童生徒の状態に応じたきめ細かい支援が行えるよう取り組んでいく。	

市町村名	八重瀬町							
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
884	1-⑤	八重瀬町ICT教育強化事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	4-5-(3)-イ		
担当部課名	教育委員会 学校教育課	事業実施 (予定)年度	平成26年～令和7年 度	沖縄振興基本方針 該当箇所	多様な能力を育て、力強く未来 を拓く人づくり			
Ⅲ-3-(1)								
事業内容	GIGAスクール構想の実現に向けて、校内ネットワークへの接続や学習用端末と連携が可能な電子黒板を導入し、主体的な学びの意欲向上及び 更なる学力向上を目指す。							
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)							
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他()							
予算額・ 執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	予算 の 状 況	(a)当初予算額	63,037	93,001	31,030	38,624	54,995	
		(b)予算現額	56,601	48,950	29,568	37,684	53,879	
		(c)増減額(b-a)	▲6,436	▲44,051	▲1,462	▲940	▲1,116	
		(d)繰越額	0	0	0	0	0	
		A.計(b+d)	56,601	48,950	29,568	37,684	53,879	
	B.執行済額		56,601	48,950	29,568	37,684	53,879	
	うち交付金充当額		45,280	39,160	23,654	37,684	43,103	
	次年度繰越額							
	執行率(%) (B/A)		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
予算の状況の説明		予算については、適宜計画の変更を行い執行率100%となった。						
活動目標 (指標) 及び達成状況	R6活動目標(指標)		達成状況					
				R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	ICT機器の整備 電子黒板等(55台)	目 標	(60台)	(33台)	(40台)	(55台)		
		実 績	60台	33台	40台	55台		
		目 標	()	()	()	()		
		実 績						
達成 状 況 説 明	・当初計画通り、小学校4校に対し電子黒板及び電子黒板用PCを53台、中学校1校に対し2台を設置することができた。 (東風平小学校21台・白川小学校18台・具志頭小学校7台・新城小学校7台・具志頭中学校2台)							
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R6成果目標(指標)			基準値 (年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値 (年度)
	児童生徒へのアンケートにより、ICT機器を活用した授業が分かりやすかった(80%以上)を含め、本事業のあり方を検証する。	目 標	()	(80%)	(80%)	(80%)	()	
		実 績		93%	94%	95%		
	【参考指標】	目 標	()	()	()	()	()	
		実 績						
	進 捗 状 況 説 明	・電子黒板未整備の中学校への電子黒板の整備を行うことができた。 ・校内ネットワークとの接続が可能な電子黒板を小学校1～2年の教室へ整備する事ができた。(100%) ・児童生徒に対するアンケート検証を実施したところ、ICT機器を活用した授業が分かりやすかったと答えた割合は95%となり、目標を達成した。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・児童生徒の増加に伴い、学級が増加している学校があるため、引き続き電子黒板の整備が必要となっている。 ・小学校に設置している電子黒板について、一部の機器は校内ネットワークとの接続に対応していないため、校内ネットワークと接続可能な電子黒板の整備を進める必要がある。	・電子黒板の整備に向けて、学級の増設状況を把握し、機器の導入見込数を適宜把握する必要がある。 ・引き続き児童生徒へアンケートを行い、ICT機器を活用した分かりやすい授業を継続する必要がある。
今後の取り組み方針		
・町内小中学校のICT機器設置状況や児童生徒数に応じた導入を計画し、主体的な学びの意欲向上、学力向上を支援していく。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>53,879</td><td>53,879</td><td>43,103</td><td>10,776</td><td>0</td></tr> </tbody> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	53,879	53,879	43,103	10,776	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
53,879	53,879	43,103	10,776	0										
八重瀬町 53,879千円 備品購入費 53,879千円 株式会社オキジム 53,879千円 〔電子黒板等購入〕														
資金の流 れ、費 目・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・事業者は指名競争入札で選定しており、妥当と考える。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	・予算規模について、事前見積、過去の購入実績等を参考に積算しており、購入台数も含めて適切な規模と考える。											
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	-											
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	・費目・使途について、電子黒板の導入にあたり、必要なものに限定されている。											

市町村名	八重瀬町							
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1-⑦	「夢・未来」スポーツレベルアップ事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-(9)-ア		
担当部課名	教育委員会	スポーツ振興課	事業実施(予定)年度	平成27～令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	能力を引き出し、感性を磨く人づくりの推進 Ⅲ-3-(2)		
事業内容	トッパアスリートから指導を直接受けることにより八重瀬町民のスポーツレベルを高める。 全国のチームや県外選手と交流、試合(派遣助成)をすることで児童生徒のスポーツに対する意識を高める。							
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)							
実施方法	■直接実施 ■委託 ■補助 □負担 □その他()							
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	4,879	1,875	2,980	4,180	4,463	
		(b)予算現額	1,279	1,875	3,721	4,920	6,742	
		(c)増減額(b-a)	▲3,600	0	741	740	2,279	
		(d)繰越額						
	A.計(b+d)		1,279	1,875	3,721	4,920	6,742	
	B.執行済額		957	2,464	3,721	5,427	5,854	
	うち交付金充当額		765	1,971	2,977	4,341	4,683	
	次年度繰越額							
	執行率(%) (B/A)		74.8%	131.4%	100.0%	110.3%	86.8%	
予算の状況の説明								
活動目標(指標)及び達成状況	R6活動目標(指標)		達成状況					
				R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	スポーツクリニックの開催(2競技)	目標	(開催)	(開催)	(開催)	(開催)		
		実績	開催	開催	開催	開催		
	児童生徒の県外派遣の助成	目標	(助成実施)	(助成実施)	(助成実施)	(助成実施)		
		実績	助成実施	助成実施	助成実施	助成実施		
達成状況説明	①スポーツクリニック ・ソフトテニスクリニックは小中学生を対象に2月に開催した。 ・バレーボールクリニックは小中学生を対象に2月に開催した。 ②児童生徒の県外派遣費の助成 ・派遣費の助成は前年度を上回る101件の申請があり、全て助成した。							
成果目標(指標)及び進捗状況	R6成果目標(指標)			基準値(年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値(年度)
	スポーツ教室へ参加した児童生徒の保護者へのアンケートで、児童生徒のスポーツへの意識が更に高まったか(80%以上)を含め、当該事業のあり方について、アンケートにより検証する。	目標	()	(80%以上)	(80%以上)	(80%以上)	()	
		実績		97%	89%	93%		
	派遣された児童生徒の保護者へのアンケートで、児童生徒が広い視野を持てたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方について検証する。	目標	()	(80%以上)	(80%以上)	(80%以上)	()	
		実績		84%	97%	100%		
	進捗状況説明	①スポーツクリニックの開催 スポーツ教室へ参加した児童生徒の保護者へのアンケート検証の結果を児童生徒のスポーツへの意識が高まったとの回答がテニスが91%、バレーボールが95%で平均93%となり、目標を達成した。 ②児童生徒の県外派遣の助成 ・派遣された児童生徒の保護者へのアンケートによる検証を実施した結果、県外大会に派遣されることにより広い視野を持つことが出来たと、技術面に関する課題が見つかったなどの回答が100%(248名/248名)となり、目標を達成した。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	①クリニックの開催 ・トップアスリート(元オリンピック選手)による指導は機会が少なく、貴重であることから開催時期の検討や、開催時間が短くて複数回開催してほしいと要望があった。 ②児童生徒の県外派遣の助成 ・前年度より申請件数が増加した、特に団体の申請が多かったことから、児童生徒が県外開催大会への参加しやすい体制、支援することができ、また県外へ派遣されたことで児童生徒の成長につながる機会が得られたことがアンケートの回答からわかる。	①クリニックの開催 ・開催時期や開催時間は小中学生の大会が重ならないように配慮することができるが、開催時期については夏に開催するのであれば長時間開催するのは検討する必要がある。 ②児童生徒の県外派遣の助成 ・予算執行状況の把握に努め、計画的な予算流用及び変更申請を行うことが必要である。
今後の取り組み方針		
・スポーツクリニックを開催する時期を対象学生の大会を避け、夏休み期間の暑さを避け比較的涼しい午前中や夕方で開催し、多くの方がスポーツ教室に参加できるように開催する。 ・派遣費助成については、予算執行状況の把握に努め、変更申請及び経費の変更の検討を行うように努める。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
		総事業費	交付対象事業費	交付対象外経費
		5,854	5,854	0
			交付金充当額	市町村負担金
			4,683	1,171
八重瀬町 5,854千円 需用費 69千円 委託料 792千円 補助金 4,993千円 消耗品費 (横断幕・その他) ミズノ株式会社 792千円 町内各種団体及び個人 4,993千円 ソフトテニスクリニック バレーボールクリニック 児童生徒県外派遣助成金101件				
資金使途の流れ・点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明	
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者は地方自治法施行令167条の2第1項第2号に基づき随意契約を行っており妥当である。	
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算額については前年度よりも県外派遣の申請数が増加した為、変更申請及び経費変更の手続きが生じた。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○補助金については受益者である町内各種団体及び個人について航空費の5割を負担しており妥当と考える。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・使途は委託料及び事業執行の為の消耗品費であり、必要経費と考える。	

市町村名	八重瀬町						
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑧	八重瀬町国際交流人材育成事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-5-(3)-(ア)	
担当部課名	教育委員会 生涯学習文化課	事業実施(予定)年度	平成24年度 ～ 令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	国際社会、情報社会に対応した教育の推進		
					Ⅲ-3-(1)		
事業内容	国際的視野を広め、国際化時代に対応し得る青少年の育成を図るため、教育・文化・歴史・産業などの視察研修や青少年団体との交流及びホームステイ等の活動を行う青少年リーダーを海外に派遣。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	□直接実施 □委託 ■補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	予算の状況	(a)当初予算額				9,780	14,431
		(b)予算現額				12,292	10,883
		(c)増減額(b-a)	0	新型コロナウイルスの影響で事業中止(R2～4)		2,512	▲3,548
		(d)繰越額	0			0	
		A.計(b+d)	0			12,292	10,883
	B.執行済額					11,607	10,883
	うち交付金充当額					9,285	8,706
	次年度繰越額		0				
	執行率(%) (B/A)		#DIV/0!			94.4%	100.0%
	予算の状況の説明		補助金交付確定後の執行残のため、補助金3,548千円を減額した。				
	活動目標(指標)及び達成状況	R6活動目標(指標)		達成状況			
			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
海外短期派遣生徒数 12人		目標	()	()	(12人)	(12人)	
		実績			12人	12人	
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	令和6年度は43名の応募があり、記述試験、集団適正試験、面接(英語)を実施し12名を選考。12回(36時間)の事前研修で、プレゼンテーション資料作成や現地の文化学習、日常生活における英会話学習を実施。本研修では、公立及び私立の中学校へ訪問し、1日の授業をとおした交流や平和学習、文化体験やホームステイを実施した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R6成果目標(指標)		基準値(年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値()
	保護者へのアンケート実施。「児童生徒の国際的な視野が広がった」の回答率100%	目標	()	()	(100%)	(100%)	()
		実績			100	100%	
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	・国際的視野が広がったと思いますか？(とても思う:100%) ・事業に参加したことで将来に良い影響を与えたと思いますか？(とても思う:100%) ・事業参加後に物事に積極的にチャレンジするようになったと思いますか？(とても思う:75%、思う:25) 国際的な視野が広がった(100%)と回答があり、成果目標値は達成できた。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・全研修を通して成果目標へ向けた取り組みを行うことができた。 ・事前研修においては、「積極的な姿勢」をテーマにプログラムを実施した。英会話研修において、毎回講師へ週末の出来事を英語説明する事で、英語で会話する事への抵抗感を克服し、本研修へ活かす事ができた。 ・本研修では、現地学校での交流やホームステイをとおして国際的な体験をすることで新しい価値観に触れ国際社会への理解を深める事ができた。	・事業の目的や効果を参加者及び保護者へ更に理解して頂き、現地研修内容の更なる充実を図る。
今後の取り組み方針		
・成果目標を達成できたが、研修内容を更に充実させるため、現地学校担当者と協議し、より良い研修内容を作成していく。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>12,105</td><td>10,883</td><td>8,706</td><td>2,177</td><td>1,222</td></tr> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	12,105	10,883	8,706	2,177	1,222
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
12,105	10,883	8,706	2,177	1,222										
八重瀬町 10,883 千円 補助金 10,883 千円 八重瀬町青少年交流会 10,883 千円 ほか、参加者負担分(交付対象外経費) 1,222千円 報償費 旅費 需用費 役務費 委託料														
資金の 使途の 流れ、 点検、 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○国際化時代に対応し得る青少年の育成を図るため、「国際交流事業」を実施する八重瀬町青少年国際交流会への補助金交付選定は妥当だと考える。 ○事業に係る経費は見積書に基づき積算されており、適正な規模であると考え。 ○参加者負担額は実施要項へ定められており、妥当と考える。 ○費目・使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	八重瀬町						
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑨	八重瀬町青少年少女人材育成交流事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-5-(2)-(ア)	
担当部課名	教育委員会 生涯学習文化課	事業実施(予定)年度	平成26年度 ～ 令和13年度		沖縄振興基本方針該当箇所	教育機会の拡充	
						Ⅲ-3-(1)	
事業内容	幅広い視野を育み、自然の中での体験活動や、集団生活を通して、規律・協調・友愛・奉仕等の精神を身につけ、心身ともに健やかな青少年の健全育成を図るため、風土・文化の違う他県の子どもたちと交流を行う。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	□直接実施 □委託 ■補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	予算の状況	(a)当初予算額				7,205	6,156
		(b)予算現額				7,205	5,856
		(c)増減額(b-a)		新型コロナウイルスの影響で事業中止		0	▲300
		(d)繰越額				0	
	A. 計(b+d)	0			7,205	5,856	
	B. 執行済額				4,777	5,002	
	うち交付金充当額				3,821	4,001	
	次年度繰越額	0			0	0	
	執行率(%) (B/A)	#DIV/0!			66.3%	85.4%	
予算の状況の説明	本事業を実施する八重瀬町交流会へ補助金を交付した。 執行残は、インフルエンザ罹患による1名キャンセルや八重瀬町交流会にて実施した委託の入札残である。						
活動目標(指標)及び達成状況	R6活動目標(指標)		達成状況				
			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	(冬)児童生徒交流者数 28人	目標	()	()	(42人)	(28人)	
		実績			23人	27人	
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	・1月28日から1月31日までの期間において、町内児童生徒27人が山形県米沢市へ派遣され交流を行った。 ・1名は直前の1月26日にインフルエンザ罹患によってキャンセルとなった。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R6成果目標(指標)		基準値(年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値()
	保護者へのアンケート実施。 「児童生徒の視野が広まった」の回答率100%	目標	()	()	(100%)	(100%)	()
		実績			97%	100%	
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	児童生徒の視野が広まった(とても思う74%、思うが26%)と回答。成果目標値は、100%を達成。 ・事業に参加したことで良い影響を与えたと思いますか?(とても思う:67%、思う33%) ・今後もこのような交流事業へお子様を参加させたいと思いますか?(思う:96%、その他4%)					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・全研修を通して成果目標へ向けた取り組みを行うことができた。 ・本研修では、現地児童との交流において、現地の伝統的な料理やレクリエーションを通して、心身の健全育成を図ることができた。	・事業の目的や効果を参加者及び保護者へ更に理解して頂き、現地研修内容の更なる充実を図る。
今後の取り組み方針		
・成果目標を達成できたが、研修内容を更に充実させるため、現地関係者と協議し、より良い研修内容を作成していく。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>5,678</td><td>5,002</td><td>4,001</td><td>1,001</td><td>676</td></tr> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	5,678	5,002	4,001	1,001	676
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
5,678	5,002	4,001	1,001	676										
八重瀬町 5,002 千円 補助金 5,002 千円 八重瀬町交流会 5,002 千円 (ほか、参加者負担分(交付対象外経費) 676千円) 報償費 旅費 需用費 役務費 委託料														
資金の流 れ、費 目・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○少年少女の人材育成を図るため、「交流事業」を実施する八重瀬町交流会への補助金交付選定は妥当だと考える。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○事業に係る経費は見積書に基づき積算されており、適正な規模であると考える。											
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○参加者負担額は実施要項へ定められており、妥当と考える。											
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。											

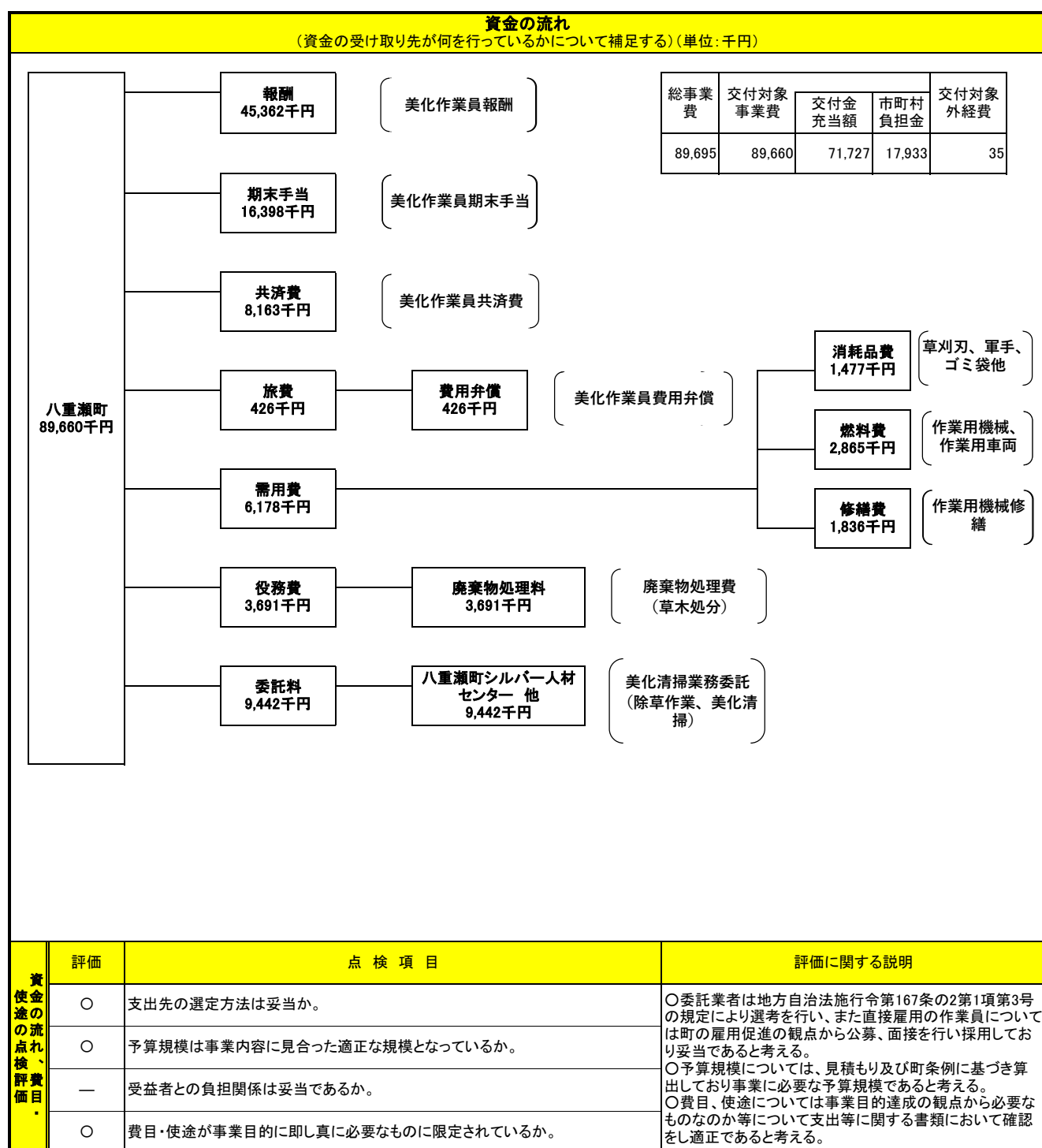
市町村名	八重瀬町						
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-①	八重瀬町イベント事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-3-(2)-ウ	
担当部課名	総務部 企画財政課	事業実施 (予定)年度	平成24年度 ～ 令和13年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	多彩かつ質の高い観光の推進		
					Ⅲ-1-(1)		
事業内容	町の観光資源である桜を活用して観光客の誘客を図るため、桜まつりの開催支援を行う。 伝統芸能の継承と青年活動を助成するため、青年エイサー祭りの開催支援を行う。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	□直接実施 □委託 ■補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)	予算 の 状 況	(a)当初予算額	0	3,500	4,500	10,100	14,420
		(b)予算現額	0	3,500	8,000	13,100	14,400
		(c)増減額(b-a)	0	0	3,500	3,000	▲20
		(d)繰越額	0	0	0	0	
		A.計(b+d)	0	3,500	8,000	13,100	14,400
	B.執行済額	0	3,500	7,195	10,947	14,400	
		うち交付金充当額	0	2,800	5,756	8,757	11,519
		次年度繰越額	0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		0.0%	100.0%	89.9%	83.6%	100.0%
	予算の状況の説明		・「八重瀬町青年エイサー祭り」、「やえせ桜まつり」の実施について予定通り執行することができた。				
活動目標 (指標) 及び達成状況	R6活動目標(指標)		達成状況				
			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	やえせ桜まつりの補助	目 標	(7,400人)	(7,400人)	(7,400人)	(補助)	
		実 績	12,376人	25,400人	25,400人	実施	
	八重瀬町青年エイサーまつりの補助	目 標	()	()	(補助)	(補助)	
		実 績			実施	実施	
	やえせ桜まつり実施に係る八重瀬公園 の整備(トイレ機能強化(洋式化)工事)	目 標	()	()	()	(実施)	
		実 績				実施	
達成 状況 説明	やえせ桜まつりへの補助及びトイレ機能強化、八重瀬町青年エイサー祭りへの補助を計画通り実施した。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R6成果目標(指標)		基準値 (R5年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値 (年度)
	やえせ桜まつり来場者数 24,000人以上	目 標	(7,400)	(7,400)	(7,400)	(24,000)	()
		実 績		25,400	23,600	31,069	
	八重瀬町青年エイサー祭り来場者数 来場者13,000人以上	目 標	(13,000)	()	(13,000)	(13,000)	()
		実 績			6,500	13,100	
	進 捗 状 況 説 明	【やえせ桜まつり】 前年度までの事業に加え、新規事業として「やえせ桜未来プロジェクト」(植樹・育樹ボランティア)および体験ブース(アウトドア体験、琉装着付け体験)の設置を行い、老若男女問わず楽しめるよう工夫した。また、臨時駐車場を設置することで、来場者数の大幅な増加につながった。 【八重瀬町青年エイサー祭り】 天候も良く、SNSでの広報により成果目標を達成することができた。					

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	【やえせ桜まつり】 ・さくらの開花時期にばらつきがあり、年間を通じた計画的な桜の管理 ・会場までの乗り入れの混雑、駐車場の確保 【青年エイサーまつり】 ・令和6年10月13日(日) 16時開始、晴 ・目標未達の要因となった開催時期、時間を改め、10月の連休中に実施した。周辺地域の渋滞や駐車場が混雑した。	【やえせ桜まつり】 ・「やえせ桜未来プロジェクト」(植樹・育樹ボランティア)の持続的な活動を支援し、計画的な桜の管理方法の確立を目指す。 ・シャトルバスの運行増、誘導員の増員を図ることにより交通の円滑化を図る。 【青年エイサーまつり】 ・SNSを活用した情報発信の強化を図り、町外県外・海外からの誘客を図る。 ・交通誘導等を実施し、渋滞や駐車場混雑緩和へ取り組む。
今後の取り組み方針		
	【やえせ桜まつり】 ・「やえせ桜未来プロジェクト」の活動を継続的に支援するために、地元住民や学校と連携した定期的な育樹・植樹イベントを開催する。 ・シャトルバスの運行経路の見直しや案内掲示板の適正配置を行い、スムーズな交通誘導を図る。 ・スタンプラリー等を活用し、イベントの来場者の町内の滞在時間・消費額の増加を図る。 【青年エイサーまつり】 ・開催内容などの事前協議をより早期から実施する。 ・十分な自主財源を確保し、継続可能な体制の構築。 ・SNSを活用し、情報の発信周知を図る。 ・近隣市町村の青年団体への出演依頼の声掛けを行う。	

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>14,400</td><td>14,400</td><td>11,519</td><td>2,881</td><td>0</td></tr> </tbody> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	14,400	14,400	11,519	2,881	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
14,400	14,400	11,519	2,881	0										
八重瀬町 イベント事業 14,400千円 委託料 7,500千円 (一社)八重瀬町観光物産協会 7,500千円 〔八重瀬町イベント事業 やえせ桜まつり事業に係〕 工事請負 1,299千円 株式会社クラシアン 〔八重瀬町公園トイレ機能強化(様式化)工事に係〕 補助金 5,600千円 八重瀬町青年エイサー祭り実行委員会 5,600千円 〔八重瀬町青年エイサー祭りに係る経費の補助〕														
資金の 使途の 流れ、 点検、 評価	評価	点検項目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託先は指名競争入札にて選定しており、補助金は八重瀬町イベント事業補助金交付規則を根拠に本町と連携して観光振興を図っている団体であり、選定は妥当である。 ○八重瀬町財務規則に基づき予算執行しているため妥当である。 ○運営資金の不足分を補助しているため、受益者との負担関係は妥当である。 ○費目、使途については実績報告で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	八重瀬町							
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	②-2	八重瀬町観光地美化作業事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-1-(1)-ウ		
担当部課名	経済建設部 教育委員会 文化課	都市整備課・土木建設課 スポーツ振興課・生涯学習文化課	事業実施(予定)年度	平成24～令和13年	沖縄振興基本方針該当箇所	人と環境に優しいまちづくりの推進 Ⅲ-1-(1)		
事業内容	魅力的な観光地としての景観形成を図るため、町内の観光客が訪れる観光地や施設、観光地アクセス道路等の美化清掃を行う。							
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)							
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()							
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	57,401	54,475	101,112	81,877	93,380	
		(b)予算現額	48,338	52,407	102,201	81,877	93,380	
		(c)増減額(b-a)	▲9,063	▲2,068	1,089	0	0	
		(d)繰越額				0		
		A.計(b+d)	48,338	52,407	102,201	81,877	93,380	
	B.執行済額		47,991	48,940	95,119	81,872	89,660	
	うち交付金充当額		38,392	39,152	76,095	63,539	71,727	
	次年度繰越額							
	執行率(%) (B/A)		99.3%	93.4%	93.1%	99.99%	96.0%	
予算の状況の説明		会計年度任用職員の雇用形態(等級関連)や勤務実績などによる報酬や手当、共済費の残額を含め、燃料費などを合わせて3685千円の不用額が生じた。						
活動目標(指標)及び達成状況	R6活動目標(指標)		達成状況					
				R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	観光地や施設及びアクセス道路の美化作業 観 光 地 :13箇所 アクセス道路 :45箇所	目 標	(13箇所 45路線)	(13箇所 45路線)	(13箇所 45路線)	(13箇所 45箇所)		
		実 績	13箇所 45路線	13箇所 45路線	13箇所 45路線	13箇所 45箇所		
			目 標	()	()	()	()	
			実 績					
達成状況説明	観光地や施設及びアクセス道路の草木の伐採等による景観美化作業を計画どおりに実施する事ができた。							
成果目標(指標)及び進捗状況	R6成果目標(指標)			基準値(年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値(年度)
	観光地周辺の景観形成及び道路環境について、観光地としてふさわしい景観及び道路環境であると感じるかを含め(80%以上)、当該事業のあり方をアンケート調査により検証する。	目 標	()	(80%以上)	(80%以上)	(80%以上)	(80%以上)	
		実 績		95%	95%	92%		
	【参考指標】	目 標	()	()	()	()	()	
		実 績						
	進捗状況説明	・観光地周辺の景観形成及び道路環境について、観光地としてふさわしい景観及び道路環境であるとの回答結果が92%となり、目標を達成した。 ・優先順位や必要性の高い場所の選定を行いながら定期的に景観美化作業を行うことができた結果、安心安全な観光客の受入体制の整備を行うことができたと考える。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・梅雨や台風等の気象条件の影響による作業効率の低下や、草木の成長が著しい夏場において、美化作業の遅れが生じることがある。 ・気温が上昇する夏場には作業員の体調面の負担が大きく、作業効率維持の課題となっている。 ・沿線道路での作業が多いため、飛石や車両事故へ十分配慮する必要がある。	・気象条件の影響や作業員の体調面の負担を減らすため、計画的な作業実施や、除草剤の活用を検討する。 ・作業効率向上を図るために、新規備品の購入を検討する。 ・作業現場周辺を十分に確認し、危険を及ぼさよう安全な作業を徹底する。また、飛石の事故が起きない用にネットを使用しているが、ネットを飛び越えた飛石による事故が委託先で数件みられた。今後は十分に配慮し、再発防止に向けて徹底する。
今後の取り組み方針		
・気象条件や繁忙期等を勘案した作業実施の計画を行い、観光地としての通年での美化を目指す。 ・除草剤を活用するなど、美化作業員の作業効率向上に係る取組を推進する。 ・計画的な作業機械の更新を行っていく。 ・飛石や車両事故へ十分配慮する。		



市町村名	八重瀬町						
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-③	運動公園施設等整備事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-3-(9)-ア	
担当部課名	教育委員会 スポーツ振興課	事業実施 (予定)年度	平成24年度 ～ 令和13年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	「スポーツアイランド沖縄」の形成 Ⅲ-1-(1)		
事業内容	スポーツキャンプの誘致を図るため、運動施設の整備を行う。 令和6年度においては、東風平サッカー場の芝生管理業務、東風平野球場の肥料及び資材の購入、備品購入を行う。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	予算の 状況	(a)当初予算額	61,949	15,334	15,334	78,247	28,280
		(b)予算現額	15,994	15,334	15,334	78,247	27,457
		(c)増減額(b-a)	▲45,955	0	0	0	▲823
		(d)繰越額	0	0	0	0	0
		A.計(b+d)	15,994	15,334	15,334	78,247	27,457
	B.執行済額		15895	15316	15313	78,241	27,457
	うち交付金充当額		12716	12253	12250	62,592	21,965
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		99.4%	99.9%	99.9%	99.9%	100.0%
予算の状況の説明		・東風平サッカー場においては、芝生管理委託について予定通り執行することができた。 ・東風平サッカー場、野球場、芝管理用備品購入について予定通り執行することができた。 ・東風平野球場においては、芝生管理に必要な肥料及び資材の購入について予定通り執行することができた。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	R6活動目標(指標)		達成状況				
				R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	サッカー場プロ仕様芝生整備及び、管理用機械の購入	目 標	(実施)	(実施)	(実施)	(実施)	
		実 績	実施	実施	実施	実施	
	運動公園整備工事及び芝生用肥料及び資材等の購入	目 標	(実施)	(実施)	(実施)	(実施)	
		実 績	実施	実施	実施	実施	
達成状況説明	・東風平サッカー場においては、通年で芝生管理を行うことで夏場、冬場と一年を通して良好な状態で芝生を維持することができ、リーグサッカーキャンプ誘致や県外サッカー大会誘致も行うことができた。 ・東風平サッカー場、野球場芝整備に使用する備品の購入ができ、年間を通し芝生が良好に管理することができた。 ・東風平野球場においては、プロ野球チームのキャンプに間に合わせ防球ネット機能強化整備することによりプロ選手の飛距離ある打球も対応することができた。また、芝生用肥料及び資材購入により芝生環境の整備を行うことで、野球キャンプの受入れ環境の向上を図ることができた。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R6成果目標(指標)		基準値 (年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値 (年度)
	野球場キャンプの受入れ(4件以上)	目 標	()	(4件以上)	(4件以上)	(4件以上)	()
		実 績		6件	4件	4件	
	サッカーキャンプの受入れ(4件以上)	目 標	()	(4件以上)	(4件以上)	(4件以上)	()
		実 績		5件	5件	4件	
	進捗状況説明	【野球キャンプ】 海外プロ野球チーム1件、日本プロ野球自主トレキャンプ1件、県外大学チームキャンプ1件、県外高校チームキャンプ1件の受入れ実績となった。 【サッカーキャンプ】 Jリーグチーム1件、Jプロサッカー選手複数人による自主トレキャンプ2件、海外国選抜チームキャンプ1件の受入れ実績となった。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	①サッカー場芝生管理 ・一年を通し芝生管理を行ってきたため、通年で芝生の状態がとてよく、キャンプ受入れ調整(チーム視察)もとてもよい印象をもってもらい、順調にJリーグキャンプを受入れや国外チームキャンプの誘致を行うことができた。 ②野球キャンプ 芝生管理に必要な肥料及び資材を購入し、施設の機能強化を図ったことから、通年で球場の状態がよく、国内プロの自主トレキャンプや、国外チームキャンプ等を誘致することができた。	①一年を通して状態の良い芝生環境整備を行うことと、芝生土壌の適切な硬さを保つこと、芝生の発育状況を継続できるように引き続き芝生管理を行う。 ②外野の芝の状態をもっと改善を行うことと、内野グラウンドの環境整備を強化していきたい。
今後の取り組み方針		
①サッカーキャンプ 一年を通して芝生管理を行うことで、芝生環境を整え施設の機能強化を図りたい。 ②野球キャンプ 令和6年度に購入した備品を活用し、外野芝生の改善、機能強化を図る。 誘致件数の増加を図るため、町観光物産協会や旅行会社と連携して八重瀬町への観光の誘客につなげたい。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)															
		<table><tr><th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr><tr><td>27,457</td><td>27,457</td><td>21,965</td><td>5,492</td><td>0</td></tr></table>		総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	27,457	27,457	21,965	5,492	0		
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費											
27,457	27,457	21,965	5,492	0											
八重瀬町 27,457千円	需用費 630千円	(有)曙開発 330千円 東洋グリーン (株) 沖縄営業所	芝生用肥料の購入 芝生用農薬の購入												
	委託料 14,850千円	東洋グリーン (株) 沖縄営業所 14,850千円	東風平サッカー場芝生管理 委託												
	工事請負費 770千円	(有) 曙開発 770千円	キャンプ前グラウンド整備 キャンプ前ブルベン整備												
	原材料費 537千円	(有) 曙開発 537千円	芝生用資材の購入 (黒土) (赤土) (芝生用目砂)												
	備品購入費 10,670千円	ヤンマー沖縄(株) 10,670千円	管理機械購入 (液肥散布機) (芝刈機) (肥料散布機)												

資金の 使途の 流れ・ 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○東風平サッカー場芝生管理委託は本町仕様内容に満たすことができる業者が限定されることから、入札に適さず随意契約しており妥当。(地方自治法施行令第167条の2第1項第2号に基づく) ○備品購入は、複数業者見積を参考として設計額を算出しており、予算規模は適正だった。 ○費目・使途については、事業目的達成の観点から必要なものに限定されているかについて、工事・委託検査の際に支出等に関する書類により精査及び検査を行っており適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	八重瀬町							
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	2-④	八重瀬町観光プロモーション事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-3-(2)-ウ		
担当部課名	総務部 企画財政課	事業実施 (予定)年度	平成26年度 ～ 令和13年度			多彩かつ質の高い観光の推進		
					沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-1-(1)		
事業内容	町内への観光誘客のため観光プロモーションの管理業務支援員(2名)を配置し、観光プロモーションを実施する。							
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)							
実施方法	□直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	予算 の 状 況	(a)当初予算額	6,178	6,192	6,228	7,762	9,621	
		(b)予算現額	5,508	5,071	5,084	7,762	9,621	
		(c)増減額(b-a)	▲ 670	▲ 1,121	▲ 1,144	0	0	
		(d)繰越額	0	0				
		A. 計(b+d)	5,508	5,071	5,084	7,762	9,621	
	B. 執行済額		5,421	5,016	4,422	6,582	9,552	
	うち交付金充当額		4,884	4,012	3,538	5,265	7,642	
	次年度繰越額		0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)		98.4%	98.9%	87.0%	84.8%	99.3%	
予算の状況の説明		当初の計画通りに執行することができた。						
活動目標 (指標) 及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況					
				R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	プロモーションの企画提案実施 6回以上	目 標	(6回)	(6回)	(6回)	(6回)		
		実 績	14回	16回	23回	25回		
	SNS等による八重瀬町観光情報の発信 100回以上	目 標	(100回以上)	(100回以上)	(100回以上)	(100回以上)		
		実 績	798回	627回	790回	637回		
達成状況説明	八重瀬町公式キャラクター「やえせのシーちゃん」を活用した各種プロモーションの展開をはじめ、ノベルティグッズの制作や観光拠点施設「南の駅やえせ」での集客イベントの開催など、支援員による企画立案および運営管理のもと、計25件の観光プロモーションを実施した。 ・SNSを活用した情報発信体制の強化を図り、町の魅力を広く発信。XやInstagram等を通じた発信は、年間で637回実施した。							
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R5成果目標(指標)			基準値 (R1年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値 ()
	主要観光施設の入域客数 160,000人以上	目 標	(267,000.)	(267,000人)	(267,000人)	(160,000人)	()	
		実 績		約173,000人	約158,000人	約249,612人		
		目 標	()	()	()	()	()	
		実 績						
	進捗状況説明	・地域の団体や事業者と連携して定期イベントを4回開催し、サッカーキャンプやさくら祭りのスタンプラリーを実施した結果、観光拠点施設「南の駅やえせ」への誘客が図られ、前年度を大幅に上回る入域客数を達成した。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・主要道路からの誘導看板がないことや、イベント時における駐車場が不足している。	・隣接地または近隣の空き地・公共施設と連携して臨時・提携駐車場を確保し、繁忙期やイベント時には誘導員を配置するなどの対応を行い入域客数の拡大を図っていく。
今後の取り組み方針		
・SNS等を活用した魅力発信の強化 地域の風景や人々の暮らし、イベント情報などを継続的に発信し、「訪れてみたい」「関わってみたい」と感じる関係人口の裾野を広げる。 ・地域事業者・団体と連携した定期イベントの実施 地元の店舗や団体と協力し、地域住民と来訪者が交流できる体験型イベントを定期的に開催することで、継続的な誘客につなげる。 ・季節・テーマに応じた周遊型イベントの強化 さくら祭りやサッカーキャンプ期間中にスタンプラリー等の周遊企画を実施し、施設を起点とした回遊性を高め、中長期的な集客を図る。		

資金の流れ				
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
9,552	9,552	7,642	1,910	0

八重瀬町
9, 5 5 2 千円

委託料
9, 5 5 2 千円

(一社) 八重瀬町観光物産協会

(八重瀬町観光プロモーション委託業務)

資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○選定方法は、平成26年度から約8年間事業に携わっていることと、関係機関等とのネットワークを構築してきた実績から随意契約を締結しており妥当であったと考える。 ○予算規模に関しては不用額も5%以内で適切であったと考える。 ○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	八重瀬町						
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-⑤	八重瀬町スポーツ観光交流屋内運動場整備事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-(9)-ア	
担当部課名	教育委員会 スポーツ振興課	事業実施(予定)年度	令和4年度 ～ 令和7年度	沖縄振興基本方針該当箇所	「スポーツアイランド沖縄」の形成 Ⅲ-1-(1)		
事業内容	各種スポーツキャンプやスポーツイベント等の誘致強化を図るため、既設敷地を雨天時の屋内運動施設として、用途変更、長寿命化に向けて必要な設計調査をし、整備を行う。 令和6年度においては、駐車場予定地の不動産鑑定業務、駐車場実施設計業務、駐車場補償費算定業務、駐車場補償、駐車場用地購入、屋内運動施設建築工事、建築施工監理委託業務を行う。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	□直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			R4年度	R5年度	R6年度		
	予算の状況	(a)当初予算額	10,758	17,389	150,000		
		(b)予算現額	10,450	19,833	128,319		
		(c)増減額(b-a)	▲308	2,444	▲21,681		
		(d)繰越額	0	0	0		
		A.計(b+d)	10,450	19,833	128,319		
	B.執行済額		10450	19,833	122,859		
	うち交付金充当額		8,360	15,866	76,648		
	次年度繰越額		0	0	0		
	執行率(%) (B/A)		100.0%	100.0%	95.7%		
予算の状況の説明		当初、駐車場計画がある用地補償算定、補償、用地買収を予定していたが、候補地の地権者との交渉が難航することが予想されたため候補地の変更を行った。そのため、本年度は不動産鑑定業務と駐車場実施設計を行うため、当初予算150,000千円から134,735千円へ予算減額を行った。					
活動目標(指標)及び達成状況	R6活動目標(指標)		達成状況				
			R5年度	R6年度			
	旧具志頭小学校体育館の屋内運動場リニューアル機能強化整備工事	目標	(実施)	(実施)	()	()	
		実績	実施	実施			
	施設駐車場実施設計業務	目標	(-)	(実施)	()	()	
		実績	-	実施			
達成状況説明	屋内運動施設整備建築工事及び建築工事施工監理委託業務を行った。 また、屋内運動施設駐車場予定地の不動産評価鑑定評価業務及び実施設計業務を行った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R6成果目標(指標)		基準値(年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値(年度)
	旧具志頭小学校体育館の屋内運動場リニューアル機能強化整備工事(継続有)	目標	()	(調査業務の実施)	(実施設計業務)	(建築工事委託業務)	()
		実績		調査業務完了	実施設計業務完了	完了完了	
	施設駐車場実施設計業務の完了	目標	()	()	()	(鑑定業務実施設計)	()
		実績				完了完了	
	進捗状況説明	屋内運動施設の器具倉庫、電気室整備工事や建築工事施工監理委託業務を行った。 また、駐車場の不動産鑑定評価業務や駐車場実施設計業務を行った。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	①屋内運動施設整備(リニューアル工事)を行うには、隣接する小学校運動場から工事アクセスとなる。 ②令和8年度に駐車場予定地の用地買収を早急に行いたい。 ③供用開始後、運営をスムーズにおこなうこと、県外からのキャンプや合宿等の誘致を行いたい。	①小学校と事前に綿密な協議を行い、学校行事や運動場を使用する時間をさせて工事を行う。 ②駐車場予定地、地権者3名と何回も面談を行い令和8年度にすぐ購入できるように良好な関係を築いていく。 ③沖縄県スポーツ協会や各スポーツチームと定期的に協議を重ねていき、供用開始後すぐ合宿やキャンプを誘致できるようにしていく。
今後の取り組み方針		
小学校の運動場の一部を使用しながら改修工事を行うので、小学校の担当者と綿密に協議を重ね、学校運営に影響が出ないように工事を行う。 また、駐車場予定地の地権者とも面談や交渉を密に行っていく。屋内運動施設の供用開始後、県外からのキャンプや合宿誘致に向けて速やかに実施していく。		

今後の取り組み方針

小学校の運動場の一部を使用しながら改修工事を行うので、小学校の担当者と綿密に協議を重ね、学校運営に影響が出ないように工事を行う。また、駐車場予定地の地権者とも面談や交渉を密に行っていく。屋内運動施設の供用開始後、県外からのキャンプや合宿誘致に向けて速やかに実施していく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
123,322	122,859	76,648	46,211	463


```

graph LR
    A[八重瀬町  
122,859千円] --> B[役務費  
※対象外経費  
463千円]
    A --> C[委託料  
10,505千円]
    A --> D[委託費  
1,980千円]
    A --> E[工事請負費  
110,374千円]
    B --> B1["(株)仲本不動産  
鑑定研究所  
463千円"]
    C --> C1["(株)大協測量設計  
10,505千円"]
    D --> D1["(株)国吉設計  
1,980千円"]
    E --> E1["(株)富士建設  
110,374千円"]
    B1 --- B2["不動産鑑定評価業務  
(駐車場)"]
    C1 --- C2["実施設計委託業務  
(駐車場)"]
    D1 --- D2["建築工事施工監理委託業務"]
    E1 --- E2["建築整備工事"]
  
```

市町村名	八重瀬町						
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-⑦	八重瀬町スポーツキャンプ事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-(9)-ア	
担当部課名	教育委員会 スポーツ振興課	事業実施(予定)年度	平成26～令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	国際的な沖縄観光ブランドの確立		
					Ⅲ-1-(1)		
事業内容	観光客の落ち込む冬場に県全体で誘客促進を図るため、県の推進するスポーツコンベンション事業と連携し、サッカーチーム、野球チーム等のスポーツチームを誘致することで、観光客の誘客を図る。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	5,906	3,959	5,006	4,685	5,343
		(b)予算現額	4,933	1,640	4,363	3,674	5,330
		(c)増減額(b-a)	▲973	▲2319	▲643	▲1011	▲13
		(d)繰越額					
	A. 計(b+d)	4,933	1,640	4,363	3,674	5,330	
	B. 執行済額	3975	4885	4362	2,938	3,355	
	うち交付金充当額	3179	3908	3490	2,938	2,683	
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)	80.6%	297.9%	100.0%	80.0%	62.9%	
予算の状況の説明	キャンプ誘致を行ったチームのキャンセル等により警備委託業務の日程に変更が生じ、当初より減額となっている。						
活動目標(指標)及び達成状況	R6活動目標(指標)		達成状況				
			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	仮設トイレの設置 仮設ヤグラの設置 警備委託	目標	(実施)	(実施)	(実施)	(実施)	
		実績	実施	実施	実施	実施	
	スポーツチームの写真展示	目標	(実施)	(実施)	(実施)	(実施)	
		実績	実施	実施	実施	実施	
達成状況説明	キャンプ期間に合わせて仮設トイレ・ヤグラ、警備員を配置することでチームの受け入れ態勢を強化するとともに観光客も訪れやすい施設整備を達成できた。 観光客や住民むけにキャンプチームの写真を展示することでキャンプの活性化に繋がった。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R6成果目標(指標)		基準値(年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値(年度)
	スポーツチームのキャンプ4チームの誘致	目標	()	(4チーム)	(4チーム)	(4チーム)	()
		実績		5チーム	4チーム	4チーム	
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	Jリーグチームの「京都サンガF.C.」、「東京ヴェルディ」、「V・ファーレン長崎」、韓国プロ野球チームの「ハンファ・イーグルス」の計4チームが八重瀬町でキャンプを行った。 トレーニングマッチも行われ、県外や海外から応援に訪れた観光客も多かった。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	韓国プロ野球チームを受け入れている東風平野球場の付帯施設の経年劣化が進んでいる。 Jリーグの開幕時期が変更となったことから、1月にキャンプスケジュールが集中したため2月のサッカー場の利用に空きがある。	野球場の経年劣化について整備・修繕等、対策を検討する。 2月もサッカーキャンプを行うことができるカテゴリーを探すことでさらなる経済効果の向上を目指す。
今後の取り組み方針		
3月開幕であるWEリーグやなでしこリーグ所属チームへのキャンプ誘致を行い、令和6年度は空いてしまった2月のサッカー場を有効利用していく。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)						
		総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
		3,355	3,355	2,683	672	0

八重瀬町
3,355千円

報酬
307千円

旅費
4千円

需用費
170千円

委託料
1,450千円

使用料及び賃借料
424千円

備品購入費
1,000千円

会計年度任用職員(直接雇用)
307千円

会計年度任用職員(直接雇用)
4千円

(株)ホームショップみなみ
40千円

きた看板
130千円

琉球警備保障株式会社
1,450千円

トップレンタル
132千円

有限会社曙開発
292千円

株式会社エマオ
1,000千円

(キャンプチームへの対応)

(通勤手当)

(消耗品費)

(展示会写真等)

(キャンプ時の警備)

(仮設トイレリース)

(カメラ台足場リース)

(パイプTENT)

資金の 使途の 流れ、 点検、 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○契約額が50万円を超える契約は指名競争入札で支出先を選定しており、妥当である。 ○予算規模は複数業者による見積書を参考に算出しており、適正である。 ○キャンプチームの日程等に合わせ契約、変更契約を行っており必要なものに限定し事業を行っている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	八重瀬町						
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-①	放課後児童クラブ利用者負担軽減事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-2-(1)-(イ) 貧困状態にある子どもへの支援	
担当部課名	民生部 児童家庭課	事業実施 (予定)年度	令和4年度～令和13 年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-4-(1)		
事業内容	放課後児童クラブを利用する非課税世帯、ひとり親世帯に対して保育利用料を減免した放課後児童クラブへひとりにつき月額5,000円の補助を行う。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	□直接実施 □委託 ■補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)	予算 の 状 況		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
		(a)当初予算額	985	1,440	1,800		
		(b)予算現額	1,350	1,440	1,897		
		(c)増減額(b-a)	365	0	97	0	0
		(d)繰越額					
	A. 計(b+d)	1,350	1,440	1,897	0	0	
	B. 執行済額	1,275	1,203	1585			
	うち交付金充当額	1,020	962	1268			
	次年度繰越額			0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	94.4%	83.5%	83.6%	#DIV/0!	#DIV/0!	
予算の状況の説明	新設の放課後児童クラブ2か所の開設が予定より遅れ、利用者数が見込みより減った為、不用額が発生した。						
活動目標 (指標) 及び達成状況	R6活動目標(指標)		達成状況				
	非課税世帯・ひとり親世帯に対して保育料を減免している放課後児童クラブへ補助を行う。	目 標	(実施)	(実施)	(実施)	()	
		実 績	実施	実施	実施		
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
	達成状況説明	町内の放課後児童クラブ(16か所)に対して、一人あたり月額5,000円の補助を実施した。					
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R6成果目標(指標)		基準値 (年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値 (年度)
	就労できた又は就労を継続できたか、経済的な負担軽減の割合:80%以上。	目 標	(75%)	(80%)	(80%)	(80%)	()
		実 績		100%	100%	100%	
	【参考指標】	目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進捗状況説明	貧困状態にある子ども世帯へ支援をしたことで、目標達成し生活の安定に寄与することができた。引き続き事業継続の要望が保護者より多数ある。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	経済的負担を理由に放課後児童クラブへの入所をしていない場合があり、子どもの居場所等で長期に渡る支援をしている事例がある。多子世帯等の場合はきょうだい児が小学生に進級する度に子どもの居場所利用を希望する状況があった。	貧困の世帯への支援として、本事業の周知を行い保護者が安心して働ける環境づくりや情報提供に取り組む必要がある。
今後の取り組み方針		
・貧困対策支援員や相談員、支援関係者に事業の周知を行い、貧困状態にある子ども世帯が利用につながるよう事業の周知を行う。 ・貧困状態にある世帯を支援する際には、貧困の連鎖にならぬよう支援ゴールは保護者が就労し子どもが当事業を活用し、学童等地域の居場所につながるよう支援目標を持つ。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
事業概要 放課後学童クラブを利用する非課税世帯、ひとり親世帯の保育利用料を減免する。		総事業費 5,205	交付対象事業費 1,585	交付金充当額 1,268
			市町村負担金 317	交付対象外経費 3,620
八重瀬町放課後児童クラブ利用者負担軽減に係る 八重瀬町 補助金交付申請 補助金交付 所属している学童(児童)クラブ わかば児童クラブ【60千円】 こちの森学童クラブ【108千円】 柿の木学童クラブ【115千円】 第一はなぞの児童クラブ【132千円】 第二はなぞの児童クラブ【158千円】 ぐしかみ学童クラブ【168千円】 学童クラブわらびんちゃ〜1くみ【135千円】 学童クラブわらびんちゃ〜2くみ【115千円】 学童クラブわらびんちゃ〜3くみ【135千円】 あらしろ児童クラブ【120千円】 やぎばる第1児童クラブ【37千円】 やぎばる第2児童クラブ【157千円】 新城学童クラブ【30千円】 学童クラブアスリート工房【18千円】 わくわく東風平学童クラブ【63千円】 ウルハピネス児童クラブ【34千円】 対象外経費(県補助) 3,620千円 利用負担申請書 減免 非課税世帯・ひとり親世帯				
資金の 使途の 流れ、 費目	評価	点検項目	評価に関する説明	
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・支出先は八重瀬町放課後児童健全育成事業補助金要綱をもとに交付されているクラブである為、妥当であったと考える。	
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	・令和6年度に学童クラブに登録されているひとり親家庭、非課税世帯の人数により積算されており、予算規模は適正であると考ええる。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	・受益者である各クラブに対する補助金は、学童保育料5,000円以内であること、保護者の減免分を補助額として負担しているので妥当だと考える。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	・費用・使途については保育利用料を減免した学童クラブからの実績報告をもとに補助をしたため、適正だと考える。	

市町村名	八重瀬町							
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	4-②	八重瀬町地産地消フェア事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-3-(7)-ウ		
担当部課名	経済建設部 農林水産課	事業実施 (予定)年度	平成26年度～令和13 年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	多様なニーズに対応するフード バリューチェーンの強化			
事業内容	Ⅲ-1-(6)							
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)							
実施方法	□直接実施 □委託 ■補助 □負担 □その他()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	予算の 状況	(a)当初予算額			2,300	2,300	2,300	
		(b)予算現額			2,300	2,300	2,300	
		(c)増減額(b-a)			0	0	0	
		(d)繰越額						
		A. 計(b+d)			2,300	2,300	2,300	
	B. 執行済額				2052	1,724	2,299	
	うち交付金充当額				1641	1,378	1,839	
	次年度繰越額				0	0		
	執行率(%) (B/A)				89.2%	75.0%	100.0%	
予算の状況の説明		事業の内容に即した適正額であったため、不用額は生じていない。 ※R2年度～R3年度は新型コロナウイルスの影響により中止。						
活動目標 (指標) 及び達成状況	R6活動目標(指標)		達成状況					
				R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	八重瀬町地産地消フェア等の開催支援	目 標	(開催支援)	(開催支援)	(開催支援)	(開催支援)		
		実 績	新型コロナウイルス の影響により中止	支援実施	支援実施	支援実施		
		目 標	()	()	()	()		
		実 績						
達成 状況 説明	今年度は、夏、冬に1日ずつ開催したことで、季節で採れる農作物が変わることをPRし、地産地消品目の幅を広げることができ、販売コーナーを設けることで、消費拡大に寄与したと考えられる。また、県の地産地消ロゴマークも活用し、県全体で地産地消を促せるような体制を構築することができた。							
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R6成果目標(指標)			基準値 (年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値 (年度)
	地産地消フェア来場者数:4,000人以上	目 標	()	(4,100)	(4,100)	(4,000人)	()	
		実 績		4,450	4,447	4,764人		
	【参考指標】	目 標	()	()	()	()	()	
		実 績						
	進 捗 状況 説明	町産農作物等のPRを図るため、地場産業を活用したイベント「八重瀬町地産地消フェア」を、夏、冬で1日ずつ開催したところ、フェアに合計約4,764名(1日目:2,187名、2日目:2,260名)が訪れた。八重瀬町の魅力ある地場産物を効果的に発信することで、本町の農林水産業の活性化に繋がった。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	○夏開催した南の駅やえせでは、駐車場が足りないことが予想されたため、近隣小学校の運動場を借用予定だったが、急遽、工事が入り、使用不能となった。 しかし、警備員の配置、シャトルバス運行を行い、対処した。	○来場者数が毎年、増加してきているため、イベント内でのターゲットを分けて、分散化による交通渋滞の緩和および、さらなる来場者の増加を図るため、参加するテナントやキッチンカー等にも発信を促し、地域全体でフェアを盛り上げていきたい。
今後の取り組み方針		
○今後開催場所を変化させ、消費者の流動、消費喚起を図りたい。 ○SNSを使った情報発信を行い、町内だけでなく町外にも広く伝わるように努める。 ○地場産業の発信のため、八重瀬町観光物産協会等も共催で開催し、費用対効果の増大を図る。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>2,299</td><td>2,299</td><td>1,839</td><td>460</td><td>0</td></tr> </table> 八重瀬町 2,299千円 → 補助金 2,299千円 → 八重瀬町地産地消フェア実行委員会 2,299千円					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	2,299	2,299	1,839	460	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
2,299	2,299	1,839	460	0										
資金使途の流れ・点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○実行委員会は補助金交付要綱に基づき構成されているため妥当であると考える。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○フェアを二度開催したが、無駄を省いたことで予算内に収めることができていた為、予算規模自体は適正だと考える。											
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○要綱に基づき負担関係は妥当であると考える。											
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について精査し執行しており適正である。											

市町村名	八重瀬町							
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	6-①	八重瀬歴史文化継承事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-1-(4)-7		
担当部課名	教育委員会 生涯学習文化課	事業実施 (予定)年度	令和4年度 ～令和13年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	沖縄文化の継承・発展・普及			
事業内容	八重瀬町の歴史・文化に関して調査、資料収集、編纂し、冊子として発刊する。発刊した冊子や調査成果を活用し企画展を開催する。							
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)							
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)			R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	17,506	21,845	25,760			
		(b) 予算現額	17,506	21,845	28,597			
		(c) 増減額(b-a)	0	0	2,837	0	0	
		(d) 繰越額					0	
		A. 計(b+d)	17,506	21,845	28,597	0	0	
	B. 執行済額		14,363	16,875	26,601			
	うち交付金充当額		11,490	13,500	21,280			
	次年度繰越額						0	
	執行率(%) (B/A)		82.0%	77.2%	93.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	
予算の状況の説明		当初の計画より国外調査費及び調査後の翻訳・文字起こしに係る報償費が増えたため増額となった。						
活動目標 (指標) 及び達成状況	R6活動目標(指標)		達成状況					
				R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	【移民・出稼ぎ編】 ・会議3回 ・海外(ボリビア、ブラジル)現地調査 ・収集した証言や資料の整理	目 標	()	(実施)	(実施)	(実施)		
		実 績		実施	実施	実施		
	【言語編】 ・会議3回 ・調査	目 標	()	(実施)	(実施)	(実施)		
		実 績		実施	実施	実施		
	企画展の開催(100人)	目 標	()	(実施)	(実施)	(実施)		
		実 績		実施	実施	実施		
	【近代資料】 ・有識者会議(4回) ・横内文書調査 ・「沖縄時論27号」調査	目 標	()	(実施)	(実施)	(実施)		
		実 績		実施	実施	実施		
達成 状 況 説 明	・移民出稼ぎ編は、海外移民先で関係者から聞き取り調査を行うことができた。 ・言語編は会議及び集落調査を行うことができた。 ・企画展は、10月30日の世界のウチナーンチュの日に合わせ企画展を開催することができた。 ・近代資料調査については、横内家文書や沖縄時論27号調査研究を行った。							
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R5成果目標(指標)		基準値 (年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値 (年度)	
			目 標	()	(100人)	(100人)	(100人)	()
	・企画展の来場者数		実 績	185人	292人	699人		
	進 捗 状 況 説 明	海外調査後、現地の生活文化等に関する企画展を10月29日から12月1日まで開催した。期間中、町内にある県立高校生の見学、県内市町村で地域史に携わる職員の団体での見学など、予定100人のところ699人の来場者があった。						

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	・海外調査のため、移民先での対象話者探しや現地でのアテンド及び通訳、ドライバーの確保に時間を要した。また、事前に町(県)人会やアテンドとWEB会議等を行ったが海外調査中、急遽話者が増えるなど時間が足りないこともあった。 ・海外調査等を企画する旅行業者の確保に苦慮した。 ・海外調査後の翻訳・文字起こしでできる方(ポルトガル語・スペイン語)が足りず苦慮した。 ・県内在住の近代史研究者より沖縄及び八重瀬関連の近代資料の寄贈があったが、人員不足のため整理ができなかった。	・海外調査後に繋がった話者などについては、WEBなど使い調査を続けていきたい。 ・翻訳等の作業で、ポルトガル語・スペイン語ができる方が不足しており、ひきつづき翻訳作業者ができる方を探しつつ調査資料をまとめていく必要がある。 ・寄贈された近代資料を寄贈元の研究者より資料の聞き取り及びリストを作成する必要がある。
今後の取り組み方針		
・海外調査等も含めた調査研究の中から新たな移民者情報などが収集できれば、できる限り聞き取り調査等を行い文化継承事業の内容を深めていきたい。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
		総事業費	交付対象事業費	交付対象外経費
		26,626	26,601	25
八重瀬町 26,601千円	報酬 10,798千円	移民・出稼ぎ・言語調査事務員 4名 謝花昇及び近代資料調査嘱託員 2名 時間外手当 4名 [交付対象外経費 25千円]		
	職員手当 3,205千円	移民・出稼ぎ・言語調査事務員 4名		
	共済費 2,075千円	移民・出稼ぎ・言語調査事務員 4名		
	報償費 3,576千円	資料整理協力費(国外調査・その他調査)、聞き取り調査等 編集専門部会委員謝礼(移民・出稼ぎ編3回、言語編1回) 謝花昇及び近代資料翻刻料 謝花昇及び近代資料調査ワーキング会議(4回)		
	旅費 5,558千円	国外調査(アルゼンチン、ブラジル、ボリビア) 3名・3名・3名 費用弁償(移民・出稼ぎ、言語調査事務員) 4名		
	需要費 177千円	消耗品費 資料複写第(県立図書館・公文書館)		
	役務費 684千円	通信運搬費(移民・出稼ぎ編、言語編編集専門部会通知文・調査協力依頼文) 国外調査渡航手続き手数料(アルゼンチン、ブラジル、ボリ)3名・3名・3名 国外調査(アルゼンチン、ブラジル、ボリビア) 3名・3名・3名		
	使用料及び賃借料 501千円	携帯電話レンタル料等		
	備品購入費 27千円	図書購入費(ブラジル沖縄県人移民研究塾同人誌、近代史関係図書) 国外調査備品(ipad購入)		
資金の流	評価	点検項目	評価に関する説明	
使金の流れ、点検、評価	○	支出先の選定方法は妥当か。	○事業者指名競争入札で選定しており妥当であると考え	
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○当初の計画より国外調査箇所及び調査後の翻訳・文字起こしに係る報償費が増えたため事業費の増額変更があったが適正な予算規模と考える。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目、使途については会計年度任用職員の報酬や国外調査等の旅費等の目的に即し、必要のものであったと判断した。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名	八重瀬町							
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	6-②	八重瀬町無形文化財活用推進事業		新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-1-(4)-(イ) 文化芸術の振興と文化芸術を支える環境づくり			
担当部課名	生涯学習文化課	事業実施(予定)年度	令和4年度～令和6年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-3-(3)			
事業内容	八重瀬町内の多彩な無形民俗文化財等を教育や観光に広く活用するため鑑賞公演パッケージの検証を化行うため、モニターツアーを実施し新たな文化観光コンテンツを整備する。							
効果発現年度	☐ 当年度 ☒ 後年度(令和7年度)							
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	
		(a)当初予算額	9,835	42,200	2,000			
		(b)予算現額	7,338	55,800	2,000			
		(c)増減額(b-a)	▲2,497	13,600				
		(d)繰越額	0	0	0			
	A.計(b+d)	7,338	55,800	2,000	0	0		
	B.執行済額	7,337	55,769	1,996				
	うち交付金充当額	5,869	44,615	1,597				
	次年度繰越額							
	執行率(%) (B/A)	100.0%	99.9%	99.8%	#DIV/0!	#DIV/0!		
予算の状況の説明	地域の文化資源を活用したツアーメニューを造成するため、文化観光体験モニターツアーを2種実施した。							
活動目標(指標)及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況					
			R4年度	R5年度	R6年度	R7年度		
	ワークショップ及び鑑賞公演のパッケージ化に向けた取り組み	目標	(5回)	(4回)	(-)	()		
		実績	5回	4回	-			
	文化観光体験プランを創出するモニターツアーによるアンケート調査	目標	(2回)	(4回)	(実施)	()		
		実績	2回	4回	実施			
	施設機能強化工事	目標	(-)	(整備完了)	(-)	()		
実績		-	整備完了	-				
達成状況説明	ワークショップ及び文化観光体験のパッケージ化に向けた取組として、地域の芸能団体と計3回協議を行いテスト公演(文化観光体験モニターツアー)を2回実施し、アンケート結果を基にニーズの分析、体験メニューを造成した。							
成果目標(指標)及び進捗状況	R5成果目標(指標)			R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	目標値 (R7年度)
	各種団体との協議(体験プランの創出)	目標	(協議:4回)	(協議:4回)	(協議:3回)	()	()	
		実績	協議:4回	協議:4回	協議:3回			
	モニターツアー参加者アンケート結果による体験プランの創出及び見直し	目標	(内容:4演目)	(内容:4種)	(内容:4種)	()	()	
		実績	内容:5演目	内容:4種	内容:4種			
	テスト公演による観覧者アンケートの実施	目標	(40件)	(80件)	(80件)	()	()	
		実績	37件	87件	87件			
	施設機能強化工事の完了	目標	(計画策定)	(機能強化)	(-)	()	()	
		実績	策定完了	工事完了	-			
	年間利用者数	目標	()	()	()	()	(3,250人)	
実績								
進捗状況説明	町内の獅子舞や、棒術、琉球舞踊の保存団体や平和学習の講師と、町の文化資源の活用法について協議し、ワークショップや公演の内容を組み立てた。 テスト公演による観覧者アンケートについては、文化観光体験ツアーのメニュー開発を目的に独自性や評価点、改善点、その他お気づきの点として細やかな回答をいただき、ニーズや実施方法についてブラッシュアップを行った。							

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	文化観光体験メニュー創出のため、八重瀬ウエディング(結婚披露宴)モニターツアー及び、文化観光資源講演会・ワークショップを実施した。アンケート結果によると、「既存のホテルや式場では感じられないあたたかな雰囲気があった」や「地域の身近な場所で特別感があった」などの評価を得たが、一方で「音響や照明が専用施設と比べ整っていない」や「トイレが公民館という感じだった」など、結婚披露宴という非日常の催しと、公共施設の日常感とのギャップが生じ、満足度を下げる要因となった。	アンケート結果により、公民館施設で実施した披露宴は、他の専門施設と比較され満足度を下げる要因となったが、施設は築年数は経過しているものの、機能強化や改修を実施し、環境や設備に不具合はないため、「地元の公民館で手づくりの披露宴を行う」ことの周知や理解を促す取組が不十分であったと考える。「地域の公共施設で実施する手づくりのイベント」という新たな価値観をPRし自走化に向けて満足度の向上を図る。また、高評価を得た地域の伝統芸能についても、鑑賞以外のメニュー開発をさぐり、満足度の向上を目指す。
今後の取り組み方針		
新たな価値観の創出のため公共施設での手作り披露宴等のプロモーションの実施を検討する。高評価を得た地域の伝統芸能についても、実演体験メニューを追加実際に体験することで、更なる満足感の向上を図る。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
1,996	1,996	1,597	399	0

八重瀬町
1,996千円

委託料
1,996千円

八重瀬町観光物産協会
1,996千円

[文化観光体験プラン創出委託業務]

資金の 使途の 流れ、 検証、 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託費は地方自治法施行令第167条の2第1項第2号の規定により選考を行い選定した。 ○不用額は事業費の5%以内であり適正な規模であった。 ○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	八重瀬町						
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	6-③	八重瀬町伝承話資料保存継承事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-1-(4)-ア	
担当部課名	教育委員会 生涯学習文化課	事業実施(予定)年度	令和5年度～令和12年度		沖縄振興基本方針該当箇所	沖縄文化の継承・発展・普及	
事業内容	八重瀬町に伝わるしまくとぅばで語られた伝承話の保存、継承を図るため、伝承話資料センターに保管されている本町の伝承話のアナログ音源資料及び文字資料(話者情報等)を調査、収集及び整理し、その整理した資料を基に動画コンテンツの作成、資料館HPへの掲載をし、多くの人がこの資料を活用できるよう図る。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R5年度	R6年度	R7年度	R9年度	R10年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	2,032	6,765			
		(b)予算現額	2,032	6,197			
		(c)増減額(b-a)	0	▲568	0	0	0
		(d)繰越額					
	A. 計(b+d)	2,032	6,197	0	0	0	
	B. 執行済額	2032	6152				
	うち交付金充当額		4921				
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)	100.0%	99.3%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
予算の状況の説明	当初予定していた人件費にいたらなかったので減額となった						
活動目標(指標)及び達成状況	R6活動目標(指標)		達成状況				
			R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	
	伝承話資料センターに保存されている音源のデジタル化、一話毎にファイル分割、データベース作成及び伝承話資料ランク付けを535話分行う	目標	(600話)	(535話)	()	()	
		実績	600話	535話			
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	当初の予定通り伝承話資料センターに保存されているアナログ音源のデジタル化、一話毎にファイル分割、データベース作成及び伝承話資料ランク付けを535話分完了した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R6成果目標(指標)		基準値(年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値(年度)
	HPの利用率10%以上(対R5年度比)	目標	()	()	()	(10%以上)	()
		実績				37%	
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	作業が完了したデータを資料館HP掲載用に整理し、掲載後の資料館HP利用率を前年度比10%以上を目標とし37%と達成できた。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化) 当初の予定通りアナログ音源のデジタル化、ファイル分割、データベース作成及びランク付けの作業を535話完了した。 また作業が完了したデータを資料館HP掲載用に整理し終えたものからHPに掲載し、さらに広報等で伝承話資料に関する情報提供を定期的に行うことで町内外の方々への周知を図り、HPの利用率も前年度比10%以上を上回り達成できた。	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点) 今後もHPや広報等にて伝承話に関する資料の情報提供及び周知徹底を図る。
	今後の取り組み方針 令和7年度は事業費削減のため中止となったので、令和6年度までに収集した音源資料及び文字資料の整理を進める。	

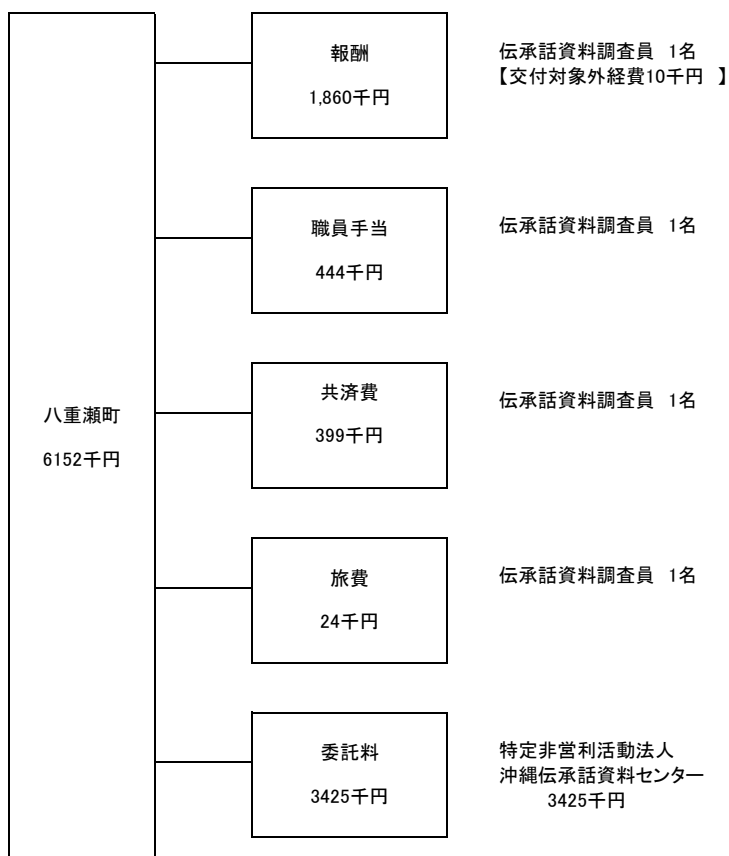
今後の取り組み方針

・令和7年度は事業費削減のため中止となったので、令和6年度までに収集した音源資料及び文字資料の整理を進める。

資金の流れ

(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付対象外経費	
		交付金充当額	市町村負担金
6,162	6,152	4,921	1,231



資金の 使途の 流れ、 点検・ 評価・ 費目	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・委託業者は本事業の目的達成のために必要なアナログ 音源資料等を唯一調査・作成し所有しており、実績・知識・ 人材等も揃っていることから選定方法は妥当であったと考 える。 ・不用額が生じておらず、適正な規模であった。 ・業務完了後に検査を実施しており、目的に即し必要な ものであると判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	八重瀬町							
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	6-④	生涯学習・文化振興拠点施設整備事業	新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所		第4章-1-(4)-(ア)			
担当部課名	教育委員会 生涯学習文化課	事業実施 (予定)年度	平成30年度 ～ 令和9年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	沖縄文化の継承・発展・普及			
事業内容	南部地域を首里城を中心にした沖縄の歴史・文化を観て、学ぶことができる場として、生涯学習・文化振興拠点施設の整備を行い、持続可能な観光地づくりに取り組み、沖縄観光の誘客を図る。							
効果発現年度	■当年度 ■後年度(令和9年度)							
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他 ()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)			H30年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	予算の 状況	(a) 当初予算額	10,779					3,011
		(b) 予算現額	8,252					3,244
		(c) 増減額(b-a)	▲2,527	0	0	0	233	
		(d) 繰越額						
		A. 計(b+d)	8,252	0	0	0	3,244	
	B. 執行済額		8228				3,151	
	うち交付金充当額		0				2,521	
	次年度繰越額							
	執行率(%) (B/A)		99.7%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	97.1%	
予算の状況の説明		土質調査業務(ボーリング)について、当初予定していたボーリングの土質区分、粘性土・シルトから固結シルト・固結粘土に変更になったため、費用が増額となった。不用額93千円については、入札残、ボーリング延長(深さ)の精算によるものである。						
活動目標 (指標) 及び達成状況	R6活動目標(指標)		達成状況					
			H30年度	R4年度	R5年度	R6年度		
	外構(駐車場)設計の実施	目 標	(基本計画 策定)	()	()	(実施)		
		実 績	策定完了			実施		
	地質調査(ボーリング)の実施	目 標	()	()	()	(実施)		
		実 績				実施		
達成 状況 説明	・外構(駐車場)設計を実施した。 地質調査(ボーリング)を実施した。							
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R6成果目標(指標)		基準値 (年度)	H30年度	R5年度	R6年度	目標値 (10年度)	
	外構(駐車場)設計の完了	目 標	() (基本計画 策定完了)	()	()	外構(駐車 場)設計の 実施		
		実 績		基本計画 策定完了		外構(駐車場) 設計の完了		
	地質調査(ボーリング)の完了	目 標	() ()	()	()	地質調査 ((ボーリン グ) の実施		
		実 績				地質調査(ボー リング)の完了		
	年間利用者	目 標	() ()	()	()	()	35,500人	
		実 績						
	進捗 状況 説明	・外構(駐車場)設計を完了した。 ・地質調査(ボーリング)を完了した。						

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	①外構(駐車場)設計において、造成高が決定し、造成工事において大量の残土処理が発生することが判明、残土受入地の調整が必要となる。 ②外構(駐車場)設計において、東風平運動公園内の排水量が増大することが判明、調整池の設置が必要となる。 ③地質調査(ボーリング)において、想定より強固な支持地盤を確認、R7の建築実施設計において調整が必要となる。	①事業の進捗に遅れが生じないよう、町内、近隣市町村への残土受入地の調整を早期に行う。 ②東風平運動公園内の排水処理に支障が生じないよう、関係課と緊密に調整を行い、工事の着手を行う。 ③R7の建築実施設計において、建築基礎について、協議を重ねていく。
今後の取り組み方針		
・生涯学習・文化振興拠点施設は、東風平運動公園内での整備であるため、社会体育施設の運営に影響が出ないように工事を行う。 ・駐車場実施設計業務、土質調査業務が完了し、建築実施設計を新たに行うので、生涯学習・文化振興拠点施設整備に向けて速やかに実施していく。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>16,871</td><td>3,151</td><td>2,521</td><td>630</td><td>13,720</td></tr> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	16,871	3,151	2,521	630	13,720
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
16,871	3,151	2,521	630	13,720										
<table border="1"> <tr> <td> 八重瀬町 総事業費 16,871千円 交付対象事業費 3,151千円 交付対象外経費 13,720千円 </td><td> 委託料 契約額合計 16,871千円 交付対象事業費 3,151千円 交付対象外経費 13,720千円 </td><td> ㈱大協測量設計 契 約 額 9,350千円 交付対象事業費 1,316千円 交付対象外経費 8,034千円 </td><td colspan="2"> 〔生涯学習・文化振興拠点施設〕 〔駐車場実施設計業務〕 </td></tr> <tr> <td></td><td></td><td> ㈱大協測量設計 契 約 額 7,521千円 交付対象事業費 1,835千円 交付対象外経費 5,686千円 </td><td colspan="2"> 〔八重瀬町生涯学習・文化振興拠点〕 〔施設土質調査業務〕 </td></tr> </table>					八重瀬町 総事業費 16,871千円 交付対象事業費 3,151千円 交付対象外経費 13,720千円	委託料 契約額合計 16,871千円 交付対象事業費 3,151千円 交付対象外経費 13,720千円	㈱大協測量設計 契 約 額 9,350千円 交付対象事業費 1,316千円 交付対象外経費 8,034千円	〔生涯学習・文化振興拠点施設〕 〔駐車場実施設計業務〕				㈱大協測量設計 契 約 額 7,521千円 交付対象事業費 1,835千円 交付対象外経費 5,686千円	〔八重瀬町生涯学習・文化振興拠点〕 〔施設土質調査業務〕	
八重瀬町 総事業費 16,871千円 交付対象事業費 3,151千円 交付対象外経費 13,720千円	委託料 契約額合計 16,871千円 交付対象事業費 3,151千円 交付対象外経費 13,720千円	㈱大協測量設計 契 約 額 9,350千円 交付対象事業費 1,316千円 交付対象外経費 8,034千円	〔生涯学習・文化振興拠点施設〕 〔駐車場実施設計業務〕											
		㈱大協測量設計 契 約 額 7,521千円 交付対象事業費 1,835千円 交付対象外経費 5,686千円	〔八重瀬町生涯学習・文化振興拠点〕 〔施設土質調査業務〕											
資金の流	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
使途の流	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業務は、本町指名審査会で選定し、指名競争入札により実施しており妥当であったと考える。 ○委託業務費は歩掛、または複数業者見積を参考として設計額を算出しており、予算規模は適正だった。 ○費目・使途が、事業目的達成の観点から必要なものに限定されているかについて、委託検査の際に支出等に関する書類により精査及び検査を行っており適正であった。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	八重瀬町						
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	7-①	八重瀬町高齢者等お出かけサポート事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-2-(5)-(ア)	
担当部課名	総務部企画財政課	事業実施(予定)年度	令和4年度～令和6年度		沖縄振興基本方針該当箇所	高齢者が生き生きと暮らせる地域づくり Ⅲ-4-(2)	
事業内容	交通弱者の通院や買い物等の外出を支援するため、地域のボランティアが運転手となり、町が用意した車両を用いた無償の送迎サービス事業を行い、地域の移動手段の確保だけでなく、町民同士のつながりや地域の活性化など高齢者福祉の充実を図る。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(令和 年度)						
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 ■負担 □その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	予算 の 状 況	(a)当初予算額			2,681	2,229	1,791
		(b)予算現額			2,096	1,397	1,263
		(c)増減額(b-a)	0	0	▲585	▲832	▲528
		(d)繰越額					
		A.計(b+d)	0	0	2,096	1,397	1,263
	B.執行済額				1980	1,221	1,128
	うち交付金充当額				1584	976	903
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		#DIV/0!	#DIV/0!	94.5%	87.4%	89.3%
予算の状況の説明		予算減528千円については、入札残による事業費の減額である。 不要額135千円については、主に燃料費及び安全運転講習受講者数の見込数量の減によるものである。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	R6活動目標(指標)		達成状況				
			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	①地域の現状やニーズの把握	目 標		実施	実施	実施	
		実 績		実施	実施	実施	
	②運行計画の策定	目 標		策定	-	-	
		実 績		策定	-	-	
	③安全運転講習の実施	目 標		実施	実施	実施	
		実 績		実施	実施	実施	
	④実証運行の実施	目 標		実施(9か月)	実施(12か月)	実施	
		実 績		実施(7か月)	実施(12か月)	実施	
⑤関係者及び利用者に対するアンケート調査の実施・評価	目 標		実施	実施	実施		
	実 績		実施	実施	実施		
達成状況説明	①地域の現状やニーズの把握について ・事業実施に向けて自治会、関係機関に対する周知・事業説明・意見交換を行った。 ②運行計画の策定について ・R4年度に策定済 ③安全運転講習の実施について ・ボランティア運転手向けの安全運転講習を4回実施し8名が受講した。 ④実証運行の実施 ・4月から3月まで実施した。(運行実績:89回 利用者:326名) ⑤関係者及び利用者に対するヒヤリング調査の実施 ・各自治会を訪問し関係者及び利用者へのヒヤリング調査を計5回行った。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R6成果目標(指標)		基準値 (年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値 (年度)
	①参加自治会数 【参考】R5実績:5自治会	目 標	()		7自治会	7自治会	()
		実 績			5自治会	6自治会	
	②月平均利用者数 【参考】R5実績:234人(7か月) (利用者総数:164人)	目 標	()	917人	25人	25人	()
		実 績		164人	27.0人	27.1人	
	③稼働率:40.0%以上 【参考】R5実績:月平均稼働率:34.5%(7か月) (運行可能日÷運行回数=稼働率)	目 標	()		40.0%	40.0%	()
		実 績			34.50%	36.5%	
進捗状況説明	①参加自治会数 ・新規加入は1団体となり目標数には到達しなかった。 ②月平均利用者数 ・R5年度上半期(4-10月)の月平均利用者数を上回るよう目標を設定し達成した ③稼働率 ・R5年度上半期(4-10月)の月平均稼働率を上回るよう目標を設定したが、稼働数が伸び悩み目標に到達しなかった。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	▶参加自治会の確保に向けて ・地域によって関心度にばらつきがあり、実施に向けた説明や合意形成に時間を要したため、新規参加数が伸び悩んだ。 ▶利用者の確保に向けて ・広報誌だけでなく、各地域に出向いて説明会を開催したり、回覧板等で事業の周知を行ったものの、十分ではなく認知度にばらつきがある。 ▶稼働率 ・ボランティア運転手の都合により、定期運行が安定せず、稼働数が伸び悩んだ。	▶参加自治会の確保に向けて ・先行地域の事例を横展開し、モデル自治会として紹介することで他地域の関心を喚起する。 ▶利用者の確保に向けて ・継続的な出前説明会の開催 ・利用をイメージしやすいよう、チラシや動画などで具体的な利用シーンを紹介する(病院の送迎、買物、サークル活動など) ▶稼働率 ・LINE等の簡易ツールを活用した稼働シフトの調整の導入 ・運転以外のサポート(予約対応・同乗支援など)を担うボランティア層の拡充により運転手の負担軽減と参加促進につなげる。
	今後の取り組み方針	
本事業は、自治会を基盤とした地域主体の取り組みであり、ボランティア運転手も地域活動に積極的に関わる住民が中心であることから、今後も自治会、利用者、ボランティアの三者が連携できる体制の構築が肝要である。そのためには、まず地域ごとの特性に応じた広報活動(自治会長、民生委員、一般住民など)や、試乗会の開催などによるサービスの「見える化」を進める必要がある。 次年度以降の実施については、福祉部門との連携を強化し、各地域における住民ニーズの把握や、単独でのサービス創出が困難な地域に対しては伴走型の支援を行い、利用者もボランティア運転手も利用しやすい事業スキームの構築を行い、本町に適した移動サービスの実施に務める。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)															
八重瀬 1,129千円 燃料費 40千円 ヤマト石油株式会社 40千円 (実証運行車両の燃料費) 役務費 (手数料&保険料) 39千円 ヤマト石油株式会社 5千円 (車両洗車手数料) 全国社会福祉協議会 34千円 (送迎サービス補償加入費) 使用料 1,026千円 株式会社HariTerrace ライムレンタカー 1,026千円 (実証運行専用車両賃貸借業務) (ほか、使用料(交付対象外経費)) 安全運転講習 負担金 24千円 ドライビングスクール沖縄 24千円 (ボランティアドライバー対 象出張型の安全運転講習業)					<table><tr><th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr><tr><td>1,158</td><td>1,129</td><td>903</td><td>226</td><td>29</td></tr></table>	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	1,158	1,129	903	226	29
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費											
1,158	1,129	903	226	29											
資金の 使途の 流れ、 点検、 評価	評価	点 検 項 目		評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。		・賃貸借契約に関しては指名競争入札により選定しており、妥当な選定であったと考える。 ・事業費の5%以上の不要額が生じているため、予算額の見直し・適切な執行管理が必要である。 ・費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。											
	△	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。													
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。													
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。													